

## 1 受賞団体・個人の名称

おおがたむらゆうきのうぎょうすいしんきょうぎかい

### 大潟村有機農業推進協議会 (秋田県南秋田郡大潟村)

(問い合わせ先)

0185-45-3653 大潟村産業建設課

(経歴)

これまで独自に活動していた村内の有機農業グループや農家が、2008年に一同となって、村有機農業推進協議会として活動することになった。

(受賞時の状況)

有機農業取組栽培農家 126戸、栽培面積 737.6ha  
(水稲 549ha、大豆183.6ha、カブチャ等5ha) 生産量 2,777t



## 2 生産面の取組

### ①土づくり

各経営者によって技術は異なるが、水田での環境を生かした土づくりに取組む。

- ・暗渠や秋季の溝掘りによる排水促進
- ・秋季のプラウ耕による乾土効果
- ・ヘアリーベッチ播種



### ②有機質肥料等の活用

・牛糞などを活用した自家堆肥、油かす、くず大豆、ヘアリーベッチ等の利用の他、大潟村カントリーエレベータ公社(CE公社)が製造している有機ペレットを活用している。

### ③病害虫や雑草防除

- ・大潟村は、もともともち病の発生が比較的少なく、恵まれた立地条件を生かした営農となっている。
- ・雑草防除は各農家の創意工夫により、ローター型、レーキ型、チェーン型、固定式タイン型等機械式除草、アイガモによる除草、ヘアリーベッチの鋤込みや田畑輪換による雑草発生抑制等、様々な技術で対応しており、更に毎年現地研修会を開催し、情報交換している。

### ④各種研修会の開催

- ・水稲、野菜に関する栽培研修会を開催し情報共有を図っている。

## 3 経営面の取組

### ○販路開拓

- ・大潟村CE公社によるブランド化…様々な商品を設定し、販路拡大により、農家手取り価格を確保している。
- ・有機農産物マッチングフェアへの参加
- ・オーガニックフェスタinあきたへの参加により実需者や消費者と交流し、あらたな需要を掘り起こしている。



## 4 取組の成果

### ①有機農家の増加

総農家数519戸のうち126戸(24%)まで有機栽培農家が増加

### ②生物多様性の保全

チュウヒなど絶滅危惧種その他、野鳥が約200種生息するなど、野鳥の楽園と言われ、村が作成した「大潟村農業チャレンジプラン」では、「生きものと共生する大潟村農業」=「生物多様性の保全」=「生産者と消費者の健康」を目標とし、村全体が一致団結した、有機農業を含む環境保全農業への取組を進めている。

## 5 地域社会への貢献

### ①八郎湖の水質保全

村を取り巻く残存湖(八郎湖)が、2007年に指定湖沼となったことから、関係機関が一体となって、水質保全に取り組み、当協議会の活動もこれに寄与している。

### ②生きもの調査、学校給食への食材供給

村内の環境保全に関し、「田んぼのクモ調査」「田んぼの生き物調査」を実施し、生物多様性の状況を確認するとともに消費者や児童生徒に対して、環境にやさしい農業をPRしている。また有機栽培で生産した米を、村内の幼稚園、小学校、中学校の給食用として提供し、村内の児童生徒に対し食農教育・環境教育を実践している。

